

機関リポジトリ推進委員会ワーキンググループ活動内容

各ワーキンググループ（以下、WG）では、「大学の知の発信システムの構築に向けて」の「4.当面の行動計画」の内容に沿って、具体的な活動内容を立案し、実行する。各WGの活動内容（例）は以下のとおりである。

WG	担当範囲	活動内容（例）	「大学の知の発信システムの構築に向けて」との対応
コンテンツ	機関リポジトリ登録コンテンツの拡大に関すること。コンテンツの拡大には、コンテンツの登録の促進とコンテンツの多様化の双方を含む。	<ul style="list-style-type: none"> ・コンテンツ登録の促進 - オープンアクセスポリシー制定のためのガイドラインの作成 - 学内学会誌の受入ポリシーの作成 - 研究推進・戦略の担当者（URA等）、大学理事・役員と連携するための活動の検討 - オープンアクセスポリシー制定のための啓蒙活動の実施 - 研究活動の始点を起点としたコンテンツ登録ワークフローの検討 - ILLの需要が高いコンテンツの機関リポジトリへの登録促進 - 著作権法の改正の働きかけ - 博士論文義務化1年目の実態調査 ・コンテンツの多様化 - 文献以外のコンテンツ（研究データ、論文サプレメント等）の機関リポジトリ登録についての調査 - メタデータスキーマについての検討 (助成金情報についての検討を含む) 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンテンツ登録の促進 (1)-① 理事・役員、研究戦略担当部署等との連携強化も含めた各機関のオープンアクセス方針の制定に資するガイドラインの作成 (3)-① 学術論文を中心とした未整備の文献の充実 (3)-③ 研究活動の始点を起点とした研究者（グループ）との連携形成による中間・最終生産物の網羅的蓄積・公開 ・コンテンツの多様化 (3)-② コンテンツの対象範囲の文献以外への拡大 (4)-① 関連機関と連携した文献以外の電子的学術コンテンツの取扱い（メタデータスキーマ、データ管理プラン等）に関する調査研究や人材育成

<p>国際連携</p>	<p>国外の機関リポジトリ関係機関・団体との連携に関すること。 連携については、日本からの情報の発信、国外情報の収集、機関リポジトリ推進委員会の指示のものと国外団体との交渉を含む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・海外動向の把握（Web サイト，ML 等）及び国内への普及 ・機関リポジトリ推進委員会から出された，国際会議におけるミッションの遂行 ・国際会議への参加による日本からの情報発信等 	<p>(1)－② オープンアクセス方針策定に係る国際的な政府，研究助成機関の動向把握と協調 (4)－④ 国内リポジトリ担当者コミュニティとの協力による国際組織への参加，会議出席等の機関リポジトリに関する国際連携の推進</p>
<p>技術</p>	<p>機関リポジトリのシステム基盤の高度化に関わること。 活動内容にはシステムの仕様策定及び運用の検討を含む。なお，メタデータ及びコンテンツ登録のワークフローに関することは，コンテンツのワーキンググループにて行う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・著者識別子活用のためのシステムの検討 ・機関リポジトリシステムの DOI 対応仕様の検討 ・その他，機関リポジトリのシステム基盤（JAIRO Cloud を含む）への先進的な機能付加の検討 	<p>(2)－① クラウド環境下における機関リポジトリに求められる機能要件の策定と JAIRO Cloud への実装支援 (2)－② 大学・NII 間共同運営方式による JAIRO Cloud システムの維持管理の可能性の検討・立案 (3)－④ 紀要，学位論文への DOI の付与，対応するスキーマへの変更等のメタデータの質の向上</p>